

2019年度 International Week ランチタイム報告会

兵庫県立大学看護学部 International Week の一環として、2020年1月9日(木)10日(金)と二日間にわたり、ランチタイム報告会を開催しました。1日目は2回生3名による「GLEP 海外研修 In Zimbabwe」、2日目は本学教員による「台湾での研究活動報告」と題して、海外で体験されたことが発表されました。

■1月9日(木)12:20～12:50

2回生の小正帆香さん、玉城聖佳さん、若松麻海さんの3名が、グローバルリーダー教育プログラム(GLEP)の海外研修で渡航したアフリカ ジンバブエでの体験を発表されました。医療や生活様式の違いなど、研修に行ったことでこれまでの価値観が大きく変わったことについて、大学や病院、ホームステイの様子など、写真を交えながら話してくださいました。研修中に演奏したジンバブエの楽器や着用したドレスも披露してくださり、学生たちは興味深く聞いていました。



■1月10日(金)12:20～12:50



2日目は、看護システム学の渡邊里香先生が、「台湾での研究活動報告」というテーマで発表されました。台中市で行われた看護の国際学会での発表の様子を多くの写真を用いてお話していただき、教職員も興味深く聞き入っていました。海外での研修に参加したり、研究発表したりする機会はなかなかありません。このような海外での体験をお話しいただくことで聞いている方の視野も広がります。

兵庫県立大学では、学生を対象とした多くの研修プログラムを提供しています。学生の皆さんも是非、海外経験に挑戦してくださいね！